

# 11ときひがの子 入学説明会

校長だより  
令和元年  
11月22日  
第27号

11月20日(水)、入学説明会・就学児健康診断・教育講演会(新一年生)が開催されました。どの子もみんな緊張と期待をふくらませた表情でした。新一年生の子は、五年生に案内されて内科・眼科・歯科・耳鼻科の検診を受けたり、現在一年生の児童と一緒に交流会で楽しんだりしていました。

保護者の方々には、私からは

○「おはようございます」「ありがとう」などの挨拶や返事がしっかりできる子。

○病気や交通事故にあわないように、好き嫌いなく何でも食べ、交通ルールを守れる子に育ってほしいと話をしました。また、学校の説明や歯科医師さんの話がありました。

その後、保健師の寺田静香氏を講師にお迎えしてこれからの生活についてのお話をうかがいました。テーマは、「規則正しい生活習慣を身につけよう。～はやね・はやおき・あさごはん～」で、分かりやすく丁寧に、以下の内容について、具体的に話されました。

## 早寝・早起き・朝ご飯

①睡眠について：小学生は、8時間～10時間の睡眠が必要で、低学年は夜9時頃には寝ること、高学年は夜10時までには寝るようにしたいこと。

○理由1：成長ホルモン(体の成長・免疫力・脂肪の分解)に影響すること

○理由2：体温リズムや体内時計に大きく影響すること

○理由3：脳の記憶力や学習効果に影響するため、学習成績などにも反映すること

○理由4：精神的なバランスや情緒面に悪影響で、感情の起伏が激しくなること

②朝ご飯について：小学6年生の全国学力テストの結果を例に出して、毎日食べている子と食べていない子を比較し、その学習効果において、国語では約15点、算数では約18点の得点差があったと言われました。

③テレビやゲーム：4時間以上テレビやゲームしている子と1時間以内の子の比較も紹介され、テレビでは国語も算数も9点差、ゲームでは国語も算数も約15点差があることを紹介されました。

具体的な数字も紹介され、説得力のある内容でした。

## 秋の果実読書では、たくさんの本が読めました

図書委員会主催の「秋の果実読書」では、ほとんどの児童が目標を達成して、それぞれたくさんの本を読むことができました。今回は、学年にあった本を「りぶら」の職員に選定して送っていただき、子供たちにはとても好評だったようです。



大野歯科医師さんからのお話



寺田保健師さんからのお話

**小学生欄**

秋のちよう遊びつかれてひと休み 六年 青山 翔大  
 いわし雲常磐の山をおおつてる 六年 佐々木 陽彩  
 実がならぬかきの木がある運動場 六年 富田 陽向  
 いがぐりが山への道に落ちてゐる 六年 峰澤 琉史  
 ゆつくりとすすきがゆれるおかの上 六年 稲垣 楓  
 ほうしぜみないてにぎやか森の中 五年 中川 結香  
 カマキリやにげ足はやいとれないよ 五年 大江 智暁  
 山の日にきらきら光る花すすき 五年 中根 慎助  
 秋の雲風にあおられどこに行く 五年 細川 煌貴  
 ねこじやらし常磐の風にゆれている 五年 和出 翔吾  
 いがぐりのとげ青々といたそうだ 五年 土田 稚己  
 大空にいつぱいうかぶいわし雲 五年 長谷川 芽依  
 秋暑しこかげをえらび句を作る 五年 近藤 嗣郎  
 バッタ跳ぶ新東名に迫りゆく 校長

俳壇

主 草の実句会 幸 峯沢 洋一 選

森の奥よく見たすと猪のわな

岡崎市常磐東小学校六年生

青山 翔大

【評】森の奥に分け入って、よく見ると「猪の罠」が仕掛けられているのを見つけた。作者の住む山間部は猿や猪が出て作物を食い荒らす被害が続出しているという。獣害に悩む人々の暮らしに思いを馳せた句。

東海愛知新聞

令和元年十一月十五日

◆常磐東小学校六年生

コオロギが草にまぎれてふみそつに

実のならぬかきのある運動場

いがぐりがやまへの道に落ちてゐる

ゆつくりとすすきがゆれるおかの

上

佐々木 陽彩

富田 陽向

峰澤 琉史

稲垣 楓

赤とんぼ仲間探して飛んでいる

赤とんぼ一匹だけでさみしいよ

杉の木の枝にとまりし赤とんぼ

高速路下を小鳥が飛んでいく

ねこじやらし常磐の風にゆれている

バッタ飛ぶ草をはなれてまた草へ

大空にいつぱいうかぶイワシ雲

昼の虫鳴く草むらや山のかげ

中川 結香

峰澤 蒼心

大江 智暁

中根 慎助

細川 煌貴

和出 翔吾

土田 稚己

長谷川 芽依

第47回岡崎のハーモニー



11月16日(土)の午後から岡崎市民会館で開催されました。市内68校の小中学校の児童生徒の代表が集まって歌や演奏を行う音楽の祭典です。

テーマは「よろこび伝える音楽の力～未来にひびく歌声～」で、本校からは、6年児童が2名参加しました。

この日のために夏休みから練習を開始して、学校で歌ったり、ブロック練習会に参加したりして、ハーモニー当日を迎えました。練習は大変だったと思いますが、多くの小中学生と歌い、歌のすばらしさ、迫力、感動を全身で体感することができたと思います。